

【ひとづくり・まちづくり部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
はじめに	特に意見なし		
基本構想	特に意見なし		
基本計画全体	一つひとつの項目を○で表すのではなく、丸数字(①、②)で表したらどうか。	各項目は順番を表すものではないため、丸数字での表記とはしないが、各施策をすみ括弧【】で表記し、課題と今後の方向性の対応をわかりやすく修正した。	一部意見反映
1-1 市民参画でつくる協働のまち	特に意見なし		
1-2 大学とともにつくる「ひと」と「まち」	産業振興に絡めて、公益大以外の高等教育機関等との連携も盛り込むべき	ものづくりを担う人材育成の施策として【高等教育機関等との連携】を追記	意見反映
	コワーキングスペースは、酒田市の産業振興寄附講座を合わせIT関係人材育成の面で活用していきたい。「IT集積都市 酒田」というキャッチフレーズを考えているので、使ってもらえると有難い。	コワーキングスペースはIT以外にも多様な創業を目指し交流拡大を図る施設と位置付けたい。IT関連のキャッチフレーズについては、公益大と連携し、最終案までに検討する。	一部意見反映
	クロスカルチャーの考え方で、他地域から公益大に進学している学生の酒田に感じていること等を聞くことは大事なことだと思うが。	昨年度と今年度に、出張版「公益大生未来会議」として公益大生の声を聴取する機会を作ったところ。公益大生の酒田市理解プログラム(酒田市に対する意見聴取)は必要と考えるので、「市施策展開における連携(地域課題の調査研究の推進等)」の中で実施していく。	記載済み


【ひとづくり・まちづくり部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
1-3 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち	芸術文化の内容は凝縮されている。もっと思いを載せられないか	<p>(2-1地域経済を牽引する商工業が元気なまち)【商業】・希望ホールイベント等の参集力を生かした中心市街地への誘導を追加</p> <p>(3-2「おもてなし」があふれ、交流でうおうまち) 郷土との絆や愛着の醸成に関連して、関連個別計画に生涯学習計画を追記</p> <p>(4-1誰もがいきいきと暮らしやすいまち)【保健福祉】2つめの主な施策に「障がい者の文化活動を支援することによる社会参加の促進」を追記</p> <p>(5-1住民と行政の協働による地域運営ができるまち)【コミュニティ振興会】に関連して関連個別計画に生涯学習推進計画、芸術文化振興計画を追記</p> <p>(5-2美しい景観と環境)【景観形成】に関連して関連個別計画に芸術文化振興計画を追記</p> <p>(6-1ひと・もの・情報が集い)【中心拠点における都市機能の再生】中、「歴史、文化・・・魅力あるまちづくり」に関連して関連個別計画に芸術文化振興計画を追記</p>	意見反映
	標準学力検査の説明を入れるべき	※2 標準学力検査：学習内容を網羅し比較可能な共通尺度で学力を測定する検査	意見反映
	教育環境の整備の成果指標が「トイレの改修済み率」だがそれだけでいいのか	・学校施設の耐震化の割合 100パーセント	意見反映
	トップアスリートになるには「触れる」だけでなく「強化」の視点も必要。記載してはどうか	今後の方向性と主な施策に1項目を追加 「小中学校と高等学校連携し、指導者の育成も含め、トップアスリートの育成に努めます。」	意見反映
1-4 学びあい、地域とつながる人を育むまち	成果指標「スポーツ行事への参加者数」に民間のものも把握してはどうか	意見として承る。	コミセン等で実施されるものも参加者数に含む予定
	芸術文化の振興に関し、すべての市民がとするのであればもう一言、「たとえ障がいがあっても」とか「障がいの有無に係わらず」などの文言を入れてほしい。	すべての市民に含まれると解するので意見として承る。	記載済み

【ひとづくり・まちづくり部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
5-1 住民と行政の協働による地域運営ができるまち	<p>市民体育祭などで、複数のコミュニティが小学校統合に伴って一つのチームとして出ているところもある一方で、小学校が統合されてもそれぞれの小さなコミュニティで出場しているところもある。港南と亀城の統合の姿に、今後の一つの方向性を見たような気がした。年配の方と若い世代では意見の相違もあるが、それを総合計画の中でどうまとめていくか。地域によって作り方も違うが、コミュニティは学校中心とした考え方を計画の中に入れていけないか。</p>	<p>「適切なコミュニティ振興会の規模、コミュニティ振興会同士の連携のあり方について、必要に応じて検討します。」と記載している。具体的な話があれば、総合計画の方向性に基づいて支援していく。</p>	記載済み
	<p>「460の自治会」とあるが、自分が把握している数と異なる。連合会に入っていない自治会があるということか。</p>	<p>連合会に入っていないところが5つある。 ⇒「460の自治会」の内訳を記載予定</p>	—
	<p>小学校統合により学校単位でのコミュニティ運営ができなくなった。コミュニティ振興会を大きくして学校単位にできないか。</p>	<p>「適切なコミュニティ振興会の規模、コミュニティ振興会同士の連携のあり方について、必要に応じて検討します。」と記載している。現在の規模だと人口減少等により維持できないところもあるので、必要に応じてコミュニティ振興会の統合などについても検討します。各コミュニティ振興会でそれぞれ事情が異なるので、個別に対応していく。</p>	記載済み

【ひとづくり・まちづくり部会】

政策タイトル	委員からの主な意見 	計画への反映状況	備考
5-2 美しい景観と環境を「全員参加」でつくるまち	特に意見なし		
5-3 地域との連携でつくる安全・安心なまち	特に意見なし		
5-4 「暮らしの足」が維持されるまち	タイトルと市民ができることが合っていない。 定期航路の成果指標の事故ゼロは当たり前で違和感がある。	定期船の安全対策と通年運航の記述を整理した。乗客数の維持対策について文言を整理した。成果指標は、異常気象により実航海数が減少しているため、年間計画数を3年平均数以上に設定し、乗客数を維持するための環境を整備する内容に修正した。	意見反映
行財政運営の方針	特に意見なし		
土地利用構想	特に意見なし		

【市民生活部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
はじめに	将来を見通すことができないと言い切っている表現が気になる。意図は十分に分かるが、言い切っているのか、表現を検討いただきたい。	「人口減少により今後様々な課題が待ち受けられる社会情勢の中でも」と修正	意見反映
	酒田市に暮らす市民みんなの力で、とあるが、協働のイメージを出すために、市民だけでなく行政という文言も入れたほうが良いのではないか。	「市民と行政のパートナーシップのもと」と追記	意見反映
基本構想	対話を通じた市民の参加とあるが、何のためにというところが明確になっていない。冒頭の意義のところでもあまり伝えられていないと感じる。	委員意見の趣旨に沿って修正 「人口が減少する中、これまで以上に新たなまちづくりの担い手として市民の役割が重要になっていますが、対話を通じた市民と行政の相互理解や地域課題などに対する気付きが、市民主体のきらりと光るその地域ならではのまちづくりにつながります。」と追記。	意見反映
	まちづくりを「自分事（我が事）」として考えて、とあるが厚生労働省の「我が事・丸ごと地域共生社会」と文言がほぼ一緒なので、意義も一緒であるのか整理して欲しい。	厚生労働省の表現を引用したものではなかったが、厚生労働省の目指す「我が事・丸ごと地域共生社会」の実現と趣旨は同様である。	意見内容確認
	住み続けたい、支え合い、といった文言で補われているのは理解するが、医療や福祉という文言がない。基本計画部分に謳ってあるのは分かるが、基本構想の一部には防災や衛生といったレベルの文言がある。	委員意見の趣旨に沿って修正 「・見守り（福祉）、防災、衛生、美化などの身近な市民の支え合いがあふれるまち ・市民、専門職（福祉・介護・医療・防災ほか）、市民活動団体、行政など多様な主体の連携による支え合いで安全・安心なまち」と修正	意見反映
	どんな人も自分らしく暮らせるまちに、医療や福祉というキーワードを加えて、抽象的なところをもう少し具体的にすると良いと思うので検討頂きたい。		
	正論とデータの部分に感じるギャップをどう埋めるかが重要だが、総合計画ではそこが見えないので、関連したプランの作り方などに力を注いで欲しい。	全てを盛り込むのは難しいので、関連する個別計画に委ねるが、成果が数字として見え、評価をしっかりとできるように構成したい。	今後検討

【市民生活部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
基本計画全体	全体を通して、「市民ができること」については、未来会議で参加した方々が確かにそうだと思うものかどうか、しっかり検証して欲しい	基本計画の冒頭に、「市民ができること」は、主に未来会議参加者の提案から構成している旨を記載。	意見反映
	未来会議については別冊資料編にまとめられるようだが、目立つところに未来会議をどれだけ開催して、その意見が反映されていると記したほうが皆さん納得できるのではないかと。	1はじめにの(5)としてに、未来会議の実施回数や参加人数、簡単な経過などを記載し、合わせて、「市民ができること」は、主に未来会議参加者の提案から構成している旨を記載。	意見反映
	縦割りにならないよう苦心した跡が見えるが、文言に福祉の要素が全く出てこない。住民同士による支え合いの観点を様々なところに散りばめないと、2025年問題には対応していけない。	福祉、衛生、防犯防災においては、市民の支え合い・助け合いや、市民と行政との協働の視点が重要であり、そういった視点を各政策に串刺しで表現する方法を、最終案までに検討したい。	今後検討
	福祉が分野に留めおかれ、基本計画全体に刺さっていると感じられない。特定の章以外に、「福祉が関係する」という発想がまったく感じられない。	同じ	今後検討
	総合計画からのメッセージ、柱がどのようにあるのか、施策間のストーリーがつながるようだと良いのではないかと。	同じ	今後検討
	10年という期間もこの現代においてはどうか、別の捉え方も必要なのではと感じる。	基本構想（市全体のめざすまちの姿）は10年間の計画としているが、具体的な施策を示す基本計画は5年間としている。	—
	全体的に成果指標は難しいと感じるので、何の為にというところが整理できないと市民にとって自分事にならないと感じる。	最終案までに全体として見直したい。	今後検討

【市民生活部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
1-1 市民参画でつくる協働のまち	行政だけが公共サービスを担う仕組みには限界があるとしているが、市民が行政サービスを肩代わりすると取られないよう、市民の主体性、自立性が、まちづくりの担い手としての可能性を広げることにつながるという文脈が必要ではないか。	委員意見の趣旨に沿って修正 【市民参加・市民協働の推進】の施策項目を追加し、「対話を通じた市民と行政の相互理解や地域課題などに対する気付きが、市民主体のきりと光るその地域ならではのまちづくりにつながる」旨を追記。	意見反映
	市民参画は行政の会議等への参加に限られるものではない。コミュニティ振興会等の地域活動への参画についても、自分事として関わっていくことが重要。	【広聴の充実】に、地域（コミュニティ振興会など）や市民活動等における対話型ワークショップの取り組み支援を追記	意見反映
	成果指標で、Facebookのいいねの数とあるが、5年10年後はもう別のSNSが普及しているかもしれない。	Facebookの利用者は高齢化が進んでいるものの、同年代を中心に堅調に推移しており、物事に飽きやすい傾向のある若年層に比べて安定していると分析する。 現在、市政を発信している広報紙、HP、facebookの各媒体の指標を、それぞれ設定するもの。	反映なし（原案のとおり）
	地域共創コーディネーターについては、養成後どこに属してどう活動してもらいたいところまで描いていないと、ワークショップの開催件数は指標としてリアリティーがない。具体的なイメージの記載があると良い。	地域共創コーディネーターの活躍を想定する分野を追記。	意見反映
1-2 大学とともにつくる「ひと」と「まち」	公益大について、対外的に評価されており、理数系があるとなお良いと思うが、公益大以外との連携について触れており、それぞれの専門分野を活かしていただくことも重要だ。	方向性は白紙状態だが、「地域需要と公益大の強みを踏まえた新たな学部設置検討にかかる連携推進」として記載済み	記載済み
1-3 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち	特別支援教育を推進という目的にとどまっており、どのような教育を行い、障がいのある児童生徒とどのように交わり、共に生きていく教育をするのか、という福祉教（共）育の視点が欠けている。	内容は包含していたが、文言を追記	意見反映
	公益の心を持つ児童生徒が育つ施策になっているとは思えず、再構築すべき。将来のまちづくり・地域福祉活動の担い手が育つかどうかに直結する。	最終案までに検討したい	今後検討
	子供達の基礎運動能力を調べた事業はどうなったか、アスリート育成、スポーツ少年団のこともあり気になる観点だ。	H19-23に事業を実施し、冊子にまとめ、各保育園幼稚園に配布し活用してもらっている。アスリート育成に関しては、追記	意見反映
1-4 学びあい、地域とつながる人を育むまち	障がい者スポーツには、まったく触れられていない。ニュージージーランドのオリパラホストタウンを機に、障がい者スポーツ振興の視点もあって然るべき。	文言を追記	一部意見反映
3-1 移住者定住者が増えるまち	高齢者の安心して生き生きと暮らせる地域づくりを進めとあるが、地域で支え合う、助け合う仕組みが重要で、第1章や第4章に加え、ここでも位置づけてはいかか。	医療機関や大学の他に、地域における支え合いの仕組みを活用して、高齢者にとって安心して暮らせるまちづくりをする旨に修正。	意見反映

【市民生活部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
3-2 「おもてなし」があふれ、交流でうるおうまち	おもてなしという大事な要素に、おもいやりの視点を加えたい。	おもてなしはおもいやりの心がなければ実現できない心の持ちようであるため、おもいやりの視点も含まれていると解されたい。	反映なし
	観光地やお店は、ソフトも含め障がい者にとって入りやすい、使いやすい（ソフトも含めて）か。障害者差別解消法の趣旨はどこで具現化されているのか。	「受入体制の整備」についての記載を追加	意見反映
4-1 誰もがいきいきと暮らしやすいまち	団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、地域包括ケアの充実に関する記載が薄い	○4-3から地域での介護予防の取り組みの記載を移行、新総合事業での多様な展開を目指すためにも担い手不足が課題と修正 ○地域福祉のニーズの多様化と公的なサービスのみで埋められない現状、地域包括ケアシステムの構築による地域づくりの必要性・個別の相談内容の複雑困難化をそれぞれ課題として整理 ○今後の方向性と主な施策に、意識醸成、地域ケア会議、連携強化について追記	意見反映
	権利擁護の課題に対応する記載がない	保健師の人員体制強化の部分を主な施策に吸収し、権利擁護体制の支援強化を追記し、あわせて記載	意見反映
	市の生活保護率が上昇しており、生活自立支援センターの新規相談件数も多い。生活困窮に関連する課題も多く、現況と対策の記載が必要ではないか。	個別課題についての現況に生活困窮についても言及し、複合的な課題であるとして、今後の方向性について障がい者や生活困窮者の自立促進、主な施策で自立支援施策の推進について追記。	意見反映
	生活困窮の話は雇用との関連もある。政策ごとでなく、全体にストーリーとしてつながりがあると具体的な施策が出てくるのではないか。	生活困窮については上記の通り、全体のストーリーのつながりについては最終案までに検討したい。	意見反映 今後検討
	2章には農商工観連携とあるが、農福連携という言葉も出てきたので検討頂きたい。	2-4の今後の方向性と主な施策【担い手の確保・育成】の中で連携の要素について記載。	意見反映
	生活弱者をどう地域で守っていくかは、もう少し具体的な施策があっても良いと思う。お金じゃないサポートで他でないようなブレイクスルーを期待したい。	他でないようなブレイクスルーについては課題として受け止め、今後検討していきたい。	今後検討
	成果指標にある孤立死について、他に適切な成果指標は無いだろうか。例えば権利擁護の成年後見件数などもある。	成果指標については見直し、就労を目指す生活困窮者のうち、就労した者の割合と修正。	意見反映
	人の価値観は多様性に富むものなので、支援は必要だが、あまり固く考えすぎないこともあるかと思う。	同上	意見反映
	孤独死と孤立死は定義がない。ないほうが良いという気持ちは分かるがこの指標は難しいので再検討されたい。	同上	意見反映

【市民生活部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
4-2 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまち	子どもの貧困・孤食・学習支援について積極的な対応が必要	現状における課題として、対策のために関係機関の連携が求められていると修正。	反映済み
	特別保育の拡充について積極的な対応が必要	特別保育の中身を追記のうえ、病時病後時保育について強調して追記。	反映済み
	子ども食堂や無料学習塾等、地域での子育て支援について積極的な対応が必要	「支援の推進」と積極的表現に修正	意見反映
	「ぎゅっと」について成果指標に入れていただきたい。どのくらいの方が利用して、どんな相談があつて、どういった成果が出たのかはとても重要なことだ。	「ぎゅっと」についての成果は事務事業における評価とさせてほしい。「ぎゅっと」事業の成果が施策の方向性の成果につながるよう運営していく。	反映なし
	自分の周囲を見ても独身の男女が多い。子どもの数を増やすということであれば、結婚支援も頑張る必要がある。	今後の方向性として結婚を望む独身者に対する支援を行なっていくとして記載している。	記載済み
	学童保育について、待機がでないよう、どうしたらよいかの施策が足りていない気がする。	主な施策に学童保育についての定員検討と施設整備を追記。成果指標にも保育所と合わせ待機児童0と修正させていただいた。	意見反映
	フランスでは、第三子がいる世帯には、働かなくて良いくらいの手当てが出る。そこまですないと少子化は解決できない段階に来ている。	主な方向性の中で子育て世代の負担軽減に努めるとさせて頂いている。ただ、財源の問題もあり、市町村単独での支援は限りあるところをご理解いただきたい。	意見反映
4-3 健康でいつまでも活躍できるまち	訪問診療・訪問看護の拡大は簡単ではないが、地域包括ケア実現のため医師会とも十分相談して欲しい。	ご意見の通り、医師会とも十分相談しながら進めさせていただきたい。	今後検討
	訪問看護や地域包括ケアについては大きな枠組みで解決しないと難しい。中でも生活支援の要素をどう書き込むかが一番重要だ。	主な施策として生活支援の仕組みづくり、取り組み活動への支援と記載させていただいている。	記載済み

【市民生活部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
5-1 住民と行政の協働による地域運営ができるまち	現状、コミュニティ振興会の役割は定まっていない。何をやるのかは、コミュニティ振興会に任せきりである。どのコミュニティ振興会も、やっていることはある程度一緒なので、共通する部分は、何か指針のようなものがあれば良いと思う。	○指針については作成予定。 ○ただし、新総合計画では、地域課題はそれぞれ異なることを前提としており、指針のような理念・概略を記載したものであるため、地域課題のすべてを網羅することができないため、指標の先にあるビジョンの策定を指標としているもの。	反映なし
	地域でやることをもう少し体系的に整理できないか。地域が実施すべき具体的な事例を示していくことはできないか。		
	地域における体系的な施策が見えない中で、成果指標にビジョンの策定を位置づけるのはどうかと思う。		
	地域共創コーディネーターについては、養成後どこに属してどう活動してもらいたいかというところまで描いていないと、ワークショップの開催件数は指標としてリアリティーがない。例えば、コミュニティ振興会から推薦されて、交付金によって人材育成活動が支援されて、地域共創コーディネーターが地域でのワークショップの担い手になっていくなど具体的なイメージの記載があると良い。	○交付金の活用のあり方や、地域課題の解決方策の検討を含め、今後、具体化していきたい。	反映なし
	現状における課題のところ、「日常生活支援、介護予防」については触れているが、もう少し詳しく触れて欲しい。	コミュニティ振興会に期待されている事項ではあるが、介護の項目で取り上げていただきたい。	内部で調整予定
	「地域（自治会・コミュニティ振興会）」としているが、自治会加入率もこれからは減るかもしれない。地域を従来型の自治組織だけで捉えないほうが良い。今後は住民自治組織だけに頼らず、他の組織や個人と連携していくことが大事と思う。	○今後の方向性と主な施策において記載している、「取組内容に応じて酒田市社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域の学校や東北公益文科大学、NPOやボランティア団体等と関係機関との協力が得られるよう支援します。」による。	記載済み
	グループに属さない人達は多くいる。そういう人たちにどう発信して関心を持っていただくかは大事だ。		
施策として「地域活動の拠点となるコミュニティセンターの整備・改修」とあるが、具体的な成果指標がない。【教育環境の整備】ではトイレ改修率を成果指標としている。【教育環境の整備】と同じレベルでの指標を考えると、例えば、コミセンの集会室へのエアコンの導入率を成果指標としてはどうか。	○本項目は老朽化してきているコミセンの設備更新などに触れているものである。また、意見のことも含め、計画的な設備更新については今後、全庁的な施設の長寿命化の考え方により検討したい。	反映なし	

【市民生活部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
5-2 美しい景観と環境を「全員参加」でつくるまち	先日ごみに関する説明会がコミュニティ振興会で開催されたが、ごみの減量化について女性の関心が高いと思う。説明会は個人個人の意識を変えていくことができるので、広報などの一方的な情報発信よりも効果が高いと考える。息の長い取り組みが必要だが、丁寧な説明と対話があれば効果は出てくるはずである。	「ごみの減量化の促進」と記載し、計画に反映済み	反映済み
	ごみの減量化の取り組みについては、徐々に浸透しつつある。情報発信については、広報や回覧板だけでなく、個別の声かけが有効と感じている。最近では、「雑紙分別大作戦」が展開されており、女性の関心がとても高いと感じている。	「ごみの減量化、再生利用（リサイクル）の促進」と記載し、計画に反映済み	反映済み
5-3 地域との連携でつくる安全・安心なまち	免許返納後の足はどうか、という本質的な問題を地域公共交通という括りだけではフォローできないので、住民による助け合い、福祉有償運送などについて書き込むことで、高齢社会に対応してというところが生きてくると思う。	意見として受け止める。	反映なし
	安全・安心について時代が変わってきており、市民ができることを真剣に考えるようにしたい。例えば、先日の北朝鮮からのミサイル発射について、周囲の反応は、とても温度差のあるものだった。市民の意識を変えるための取り組みが重要だ。	意見として受け止める。	反映なし
	住宅の耐震化の支援については広報だけでは伝わりにくい、個別に案内するなどの対応が必要と思う。	「建築物の地震に対する安全性向上に関する啓発・PR」を追加。	個別案内については、個人負担があり理解頂くのが難しい部分もあるが、防災減災対策、支援内容の周知・啓発を行う。
	避難所運営のところへ、災害弱者に配慮したなどの文言を入れたらいかか。	現在は「災害弱者」ではなく「要配慮者」という表現である。ここでいう避難所運営の内容は、受け入れ側である自主防災組織、市、学校の連携・強化という体制面についてであるため、要配慮者に関する記載は趣旨がずれる懸念がある。	反映なし
	避難所運営では、施設のどこをどのように使用するかなど、事前調整が極めて重要であり、その旨を記載したらいかか。	避難所運営の具体的な内容については、自主防災組織、施設管理者（学校等）、市が各地域ごとに策定中の個別のマニュアルの中で定められるもののため、総合計画には記載できないと考える。	反映なし

【市民生活部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
5-4 「暮らしの足」が維持されるまち	書きぶりで将来削減されるのではないかと不安をあおることになるのではないかと。安心できるような施策の内容だと良いが。 郊外では買い物など暮らしの足は車に頼らざるを得ない。自主運営という形態も課題がある。問題なく続けられるかどうか。	表現は少し厳しくなるが現実を受け止める必要があると考える。現在地域公共交通網形成計画に基づいて路線、バス停などの見直しを行なっている。地域公共交通には様々な形態があり、全てを計画に盛り込むのは困難だが、形態を変えながら暮らしの足を確保していくものとする。	反映なし
6-3 将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち	特に意見なし		
行財政運営の方針	特に意見なし		
土地利用構想	特に意見なし		

【産業交流部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
はじめに	特に意見なし		
基本構想	特に意見なし		
2-1 地域経済を牽引する商工業が元気なまち	成果指標「創業件数100件」は、実績を考えればもう少し上方修正すべきでは。	現在は創業が減少してきており相当がんばらないと達成できない数字であり、創業件数100件を目標とする。	反映なし（原案のとおり）
2-2 「港」の物流機能により産業競争力が高いまち	市民ができること「酒田港、庄内空港の積極的な利用」とあるが、飛行機は料金が高く一般市民が積極的に利用できるものではない。	「酒田港、庄内空港に関心を持ち、利用に努める」に修正。	意見反映
	臨港道路の交通対策について要望してほしい。	「周辺の道路環境等を含む」を追記。	意見反映
2-3 地元でいきいきと働くことができるまち	女性活躍は経営者の意識変える必要がある。啓発チラシや全国的な事例の情報提供など必要。	「企業訪問による事業主の意識改革」を追記。	意見反映
2-4 夢があり、儲かる農業で豊かなまち	6次産業化として個人ができることは限られる。生産・加工・販売のプロが連携して売れる商品をつくる必要がある。	6次産業化の推進を削除し、農商工親連携の推進に注力することに変更。	意見反映
	これからは園芸振興に力を入れるべき。	複合経営の推進においては、園芸振興に特に注力していくことが分かるように、畜産振興の記載を削除。	意見反映
	外国人労働力の活用のための仕組みの整備など、農業・地域産業を維持拡大することを目的とした労働力の維持・確保対策を計画すべき。	「農繁期の労働力確保を推進する取り組みを支援」を追記。	意見反映
	砂丘地の園芸の生産の強化に向けた取り組みを計画すべき。	砂丘地園芸の振興については、複合経営を推進する中で継続的に取り組んでいくものであり、あえて記載はしていない。計画では、特に複合経営の取り組みが進んでいない水田地帯において、高収益作物への転換を促進していかないと担い手の確保も厳しくなっていくという危機感から特化して記載しているものである。	継続実施
	生産工程管理等に対する取り組みについて、「支援」と書くのと、何かやってくれるのかとなるので表現を工夫してほしい。	「山形県GAPの普及・定着、第三者認証GAPの取得の推進」に修正し、GAPの注釈を記載。	意見反映
	元気なお年寄りを活用して農地を維持できないか。	「農繁期の労働力確保を推進する取り組みを支援」を追記。	意見反映
	国内マーケット開拓の視点も入れてほしい。	消費拡大には、市長によるトップセールス等国内における販路拡大を含んでいる。	記載済み
	障がい者が人手の足りない農業者のもとで就労できるようにするためのマッチングをしていくような農福連携の取り組みなども視点として加えてはどうか。	「農繁期の労働力確保を推進する取り組みを支援」の中で検討を行う。	意見反映

【産業交流部会】

政策タイトル	委員からの主な意見	計画への反映状況	備考
2-5 100年続く森林を造り、活かすまち	現実には若い人で山に入る人がほとんどいない。山の持ち主は、木を伐採して出荷しても現在の価格では安くて金にならない。森林の手入れは補助金がないと難しい。	持続可能で収益性の高い森林経営を推進するためには、計画的な森林整備が重要であり、施業の集約化を進めていく。バイオマス発電所や集成材工場の整備が進められており、バイオマス材や集成材として安定供給できる体制づくりを推進していく。	記載済み
2-6 恵み豊かな水産を活かすまち	四季を通じて途切れることのないブランド化の推進が必要。	「スルメイカ、トラフグ、マダイ等のブランド化の推進」を「四季を通じた魚のブランド化の推進」に変更。	意見反映
	漁業経営体数はもっと右肩下がりに減っている。	水産業を担う人材の確保・育成に取り組んでいく。	記載済み
	酒田港への中型いか釣り船の誘致が今まで以上に難しくなってくると思う。どこかで中型いか釣りから小型いか釣りにシフトすることを考えなければいけない時期が来ると思うので、現状を見据えて対応していかなければならない。	スルメイカについては、中型いか釣り船と小型いか釣り船の流通体制を工夫し、中型いか釣り船の船凍イカは加工品、小型いか釣り船が漁獲する生イカは酒田で食べてもらうなどの取り組みを、現状を把握しながら支援していく。	記載済み
3-1 移住者定住者が増えるまち	特に意見なし		
3-2 「おもてなし」があふれ、交流でうるおうまち	田園調布学園との交流はこれからも続けていくべき。		
3-3 「港」発の交流で賑わうまち	LCC導入の働きかけが必要。	「新規路線の就航」を「LCCを含む新規路線の就航」に修正。	意見反映
	市民ができること「酒田港、庄内空港の積極的な利用」とあるが、酒田港の利用とは何を指すのかわからない。	当該記述を削除。	意見反映
6-1 ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち	特に意見なし		
6-2 交流の基盤となる高速交通ネットワークの実現に向けて一丸となって取り組んでいるまち	特に意見なし		
6-3 将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち	特に意見なし		
行財政運営の方針	特に意見なし		
土地利用構想	特に意見なし		